

津のまちの紹介

結城神社 (藤方)

南北朝時代、後醍醐(ごたいご)天皇を奉じて「建武新政」の樹立に貢献した結城宗広公の終えんの地で、宗広公をまつる結城神社(宮崎吉章宮司)。建武中興十五社のひとつに数えられ、「太平記」のふるさとと言われる。



神苑に約350本のしだれ梅を植え、2〜3月の「しだれ梅まつり」には、かぐわしい香りと優雅な花をめでる人が県内外から大勢訪れる。「東海随一の梅の名所」とも知られている。

昔、宗広公を敬う人々が公のお墓の側に「結城明神」とた

たえる小さなほこらを建てたことに始まる。文政7年には、公の忠徳を慕う津藩主藤堂高兌(たかさわ)公が社殿を改築、墳墓を修理し、墓碑に「結城神君之墓」と自ら染筆したと伝えられている。

12月31日は18時から「大はらい」、19時「除夜祭」、23時に大かがり火点火、翌1日0時から「初神楽」、7時から「歳旦祭」を行う。

御殿場海岸で初日の出を拜んでから、結城さんで初詣というのもよいのでは？

お問い合わせは、電話・059(228)4806まで。三交バス結城神社前から徒歩2分。駐車場250台。

高山神社 (丸之内)

津の町を開いた藤堂高虎公をおまつりする高山神社(多田久美子宮司)。社名は、高虎公のおくり名(死後贈る称号)「高山居士(こうしん)」に由来する。津市民の氏神として、商工業の守護神として、現在もあつい信仰を集めている。

明治9年に創建、同36年、津



城址本丸跡に遷宮し、「お城の中のお宮さん」として、広く親しまれてきたが、昭和20年、空襲により全焼。その後、現在地(津城の内堀埋立地)に移された。

12月31日は23時半から「除夜祭」を行い、氏子の協力のもと、年越しソバ、甘酒、ご神酒を振る舞う。毎年訪れる参拝者からは「高山さんのソバを食べないと年が越せない」という声も聞かれるそう。新年1月7日には「しめ縄焼き」を行い、9時半頃から七草がゆを振る舞う。古くからの風習を大切に、近ごろ薄れつつある季節感を感じる機会となればと考えている。

わが町・津の礎を作った高虎公への感謝を胸に、新年の幸せを祈願してみよう？

三重県 護国神社 (広明町)

祖国の繁栄を願いながら、平和の礎となった御英霊を祭神とする護国神社(原光夫宮司)は、日本そして郷土三重の守り神、平和と繁栄の神様として、県内各地から広く敬われている。子供の健やかな成長を願う、子供の神様としても慕われ、3月のひなまつり、5月の子供武者参り、11月の七五三は多くの家族連れでにぎわう。またポリースカウト・ガールスカウトの活動場所にもなっている。

明治2年、津藩主藤堂高猷(たかゆき)公が、戊辰の役(ほんのえき)で戦死した藩士の霊をまつり、「表忠社」と称したのが始まりだ。以来、「招魂社」「官祭招魂社」等社名を変え、遷座も経て、現在に至る。



12月31日は、15時から「大はらい」・「除夜祭」。23時にかがり火に点火、一番太鼓の後、先着500人に干支の杯を無料授与。甘酒、ご神酒の振る舞いもある。翌1日10時から「歳旦祭」。7日頃までは正月の縁起物の絵馬や破魔矢、熊手を授与する。15日の小正月には、しめ縄や古札を持ち寄って燃やす「どんど焼き」を行う。

護国の神様に平和を感謝しつつ、お参りしてみよう？

お問い合わせは、電話・059(226)2559まで。JR：近鉄津駅西口から徒歩5分。駐車場約30台。

野邊野神社 (山中理宮司)

野邊野神社(山中理宮司)の鎮座する久居は、もとは「のべの」と呼ばれていたが、寛文10年に藤堂高通公がこの地に藩を築かれ「水久鎮居」の願いを込め、「久居」と名付けられた。

久居藩が置かれた時、領内小戸木村に鎮座の、品陀和氣命(応神天皇)をおまつりする八幡宮を太守の御氏神、並びに久居(水久鎮居)の守護神として現在の地に御奉遷され、「久居八幡宮」と改称せられた。以来、久居藩(5万3千石)の総鎮守・祈願所として尊崇された。

合祀(ごうし)令により明治41年、火の神様、迦具土命をおまつりする愛宕神社(万町鎮座)、藩祖、藤堂高通命をおまつりする久居神社(西鷹跡町鎮座)他12社が合祀され、土地の旧名にちなみ「野邊野神社」と尊称し今日に至る。

12月31日10時から「大はらい式」、23時から「除夜祭」、大かがり火に点火、翌1日2時頃まで甘酒等の振る舞いがある。元旦から各種「初とうもろ」行われる。

正月の縁起物や、破魔矢、熊手、お守りの授与があり、



オリジナルの「福朗お守り」はかわいくて元気が出る評判。おみくじが30円というのも大好評。境内の水琴窟(くつ)の音色も聞いてみては？

お問い合わせは、電話・059(255)2768まで。近鉄久居駅から徒歩7分。常設駐車場30台。初詣の臨時駐車場80台。

川上山 若宮八幡宮 (美杉町)

雲出川の水源の霊地、美杉の深い緑の中に鎮座する川上山若宮八幡宮(岡野清彦宮司)。この社の水は大変清らかで、昔から万病の薬水、不老の長命水、物事成就の成功水など、数多くの霊験をいた

だく神水とされている。社伝によると、履中天皇の御



代(5世紀初)、家城から奥の岩野郷は磐之媛(いわのひめ)皇后の領地で、仁徳天皇が開拓に努めたという。郷民がお二方を慕い、まつったのが、日本最古の当若宮八幡宮であったそう。同天皇は大変長生きであったため長寿の神様とされ、同皇后は臣下から初めて皇后の位に上がったことから、成功開運を求める人に敬われる。

その後、伊勢の国の国司代々の祈願所となり、江戸時代、藤堂家が藩主になった後も、その尊崇の念は極めてあつく、現在も全国の多くの人々より信仰されている。

12月31日13時から「大はらい式」、15時「神守札清祓式」、23時から「除夜祭」、翌1日0時に、大かがり火に点火、「初祈禱」。テレビ・自転車なども

当たる、毎年評判の「招福富貴みくじ」の授与(3が日中)やお神酒の振る舞いも開始される。3時から「もいとり祭(若水くみ取り式)」、4時から「歳旦祭」が行われる。

北畠神社 (美杉町)

奥二志で栄えた伊勢の国司、北畠氏の祖をまつる北畠神社(宮崎洋史宮司)は、結城神社と同様に、建武中興十五社のひとつ。管領(室町幕府の重要職)細川高国が作庭した神苑内の庭園は昭和11年、国の「名勝及史跡」の指定を受けている。裏山頂上の霧山城址(国司家累代の本城)と合わせ、往時をしのぶ貴重な史跡であり、歴史ファンが数多く訪れる。

「祭神の北畠顯能(あきよし)公は、南北朝時代に活躍した親房公の三男。父と兄・顯家公もともにまつりしている。北畠氏は村上源氏中院家の流れをくむ名家。建武2年以來230年に渡り、伊勢国司に任ぜられたが、織田信長に滅ぼさ



れた。寛永20年、一族の末えい鈴木孫兵衛家次が、祖霊を慰めるため小さなほこらを設け「北畠八幡宮」と称したのを創始とする。

12月31日は、23時に氏子の協力で作った、自慢のかがり火に点火。翌1日0時から2時頃までぜんざい、白酒、杵つき「福餅」を振る舞う。用意された青竹に餅を刺して、かがり火であぶっていただくのを楽しみにしている参拝客も多い。

南北朝時代のロマンを感じながらの初詣も趣があるのでは？

お問い合わせは、電話・059(275)0615まで。JR：名松線比津駅から車で10分。駐車場30台。

高田本山専修寺

国宝の紹介

国宝とは

世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいえない国民の宝たるものであるとして国(文部科学大臣)が指定した「国宝」。現在、三重県内にあるのは高田本山専修寺(津市)の『西方指南抄』・『三帖和讃』、金剛証寺(伊勢市)の『朝熊山経ヶ峯経塚出土品』、伊勢神宮(伊勢市)の『玉篇』の4点のみ。

『西方指南抄』

(1956年11月14日国宝指定)

同書は、親鸞聖人(しんらんようにん)の師である、法然上人の法語・消息・行状記などを集めた書物。専修寺が持つこの本は、すべて親鸞聖人の自筆。しかも、その筆跡は現存する



聖人の真筆の中で、最高のものと評されている。法然上人言行録としては最古で、本書のみに書写された資料が6編もあるため、非常に価値がある。

『三帖和讃』

(同日国宝指定)

和讃とは、日本の言葉で仏菩薩や高僧の徳をたたえる仏教讃歌のこと。大勢で唱和するため、七五調のメロディーをつけたものが多い。平安末期から作り始め、鎌倉時代に最も流行したが、親鸞聖人ほど、優れた和讃を数多く作った人はいない。

同書はその代表作で、「浄土和讃」「浄土高僧和讃」「正像末法和讃」の3帖からなり、門信徒に最もなじみ深い。専修寺が持つこの本は、聖人の自筆か、または直弟子が書写したものに聖人が加筆したもので、現存諸本の中で抜群の権威を持つものとして知られている。

国宝を守った堯朝上人

1646年(正保3)、第15代堯朝(ぎょうちょう)上人は、父・堯秀上人が朝廷から受け



た大僧正の位が幕府に無断であったと叱責を受けた。上人の釈明や津藩主藤堂高次公(上人の内室の兄)のとりなしも聞き入れられず、「親鸞聖人の真筆を献上せよ」と要求された上人は、寺宝を守るため、浅草唯念寺で切腹。32才という若い命と引き換えに国宝は守られたのだ。

宝物館一般公開

親鸞聖人のご徳をしのぶ報恩講、通称お七夜が毎年1月に行われる。その期間内、10日から16日(16日は午前のみ)、宝物館が一般公開される。出展物は直前まで決まらないが、何が見られるかを楽しみに、毎年多くの人が訪れる。なお、このお七夜の一般公開以外は予約が必要となる。お問い合わせは、同寺・電話059(2336)5701まで。

津の情報誌・ゼット

ホームページの紹介

津の町の文化、産業、観光情報などを発信し、町の発展につなげていこうと、今年6月に創刊した津の情報誌「ゼット」。インターネットでも情報を提供しようと、11月14日、HPを開設しました。まだ出来立てのホヤホヤですが、一度アクセスしてみてください。

「最新号」「バックナンバー」協賛(設置場所)など、「ゼット」ってどんな雑誌?という読者の疑問にお答えできるよう、随時更新していきます。ご質問、ご相談も大歓迎。「お問い合わせフォーム」からお気軽に!
<http://www.mtecweb.com/z/>

津の町をもっと沢山!もっと楽しく!
色んな情報満載のZで色んな津の町を楽しく知ろう!詳しくはこちら!

最新号	バックナンバー
<p>vol.2 2008秋号</p> <p>新刊に引き続き、入館記念のご案内、祭事などのご案内を記載しております。津産高成公式HP、公式マスコット・シロモザくんの紹介など盛り沢山です。</p>	<p>2008.11.21</p> <p>協賛(設置場所)を追加しました。NEW</p> <p>2008.09.20</p> <p>2008秋号を発行しました。NEW</p> <p>2008.08.06</p> <p>2008夏号を発行しました。</p>
<p>vol.1 2008夏号</p>	

copyright MTEC co.,LTD.ALL Right Reserved

企業の紹介

㈱青山高原ウインドファーム

環境にやさしい風力発電 後世に残そう

この地球環境を

地球環境の保全は今や世界規模で取り組まなければならない最重要課題となっている。1997年、京都で開催されたCOP3(気候変動枠組条約第3回締約国会議)では先進国の温室効果ガス削減目標を設定。日本は2008年から2012年の平均値で、1990年比6%の削減をすることになった。

世界各国では風力発電に代表される新エネルギーの活用が進められている。政府は2010年までに風力発電の設備容量を300万KWとする導入目標を定め、2003年4月にはRPS法(電気業者による新エ



会社概要

名称 株式会社青山高原ウインドファーム
事業地 三重県津市榑原町41883-2(室生赤目青山国定公園第3種特別地域内)
三重県伊賀市奥馬野字布引(同右)
資本金 440百万円
主要株主 ㈱シーテック
設立 2000年12月26日
事業内容 風力発電事業及び電力供給

風力発電に適した 青山高原



20基の風車が立ち並ぶ風力発電施設「青山高原ウインドファーム」は、伊勢の国(津市)と伊賀の国(伊賀市)を分ける布引山地にある青山高原にある。標高600~800mの大草原、その主峰「笠取山」(標高842m)は、笠が取れるほど強い風が吹くという地名の由来があるほどの好風況地域。若狭湾、琵琶湖を通り、伊勢湾に抜ける「風の通り道」にあり、年間平均風速7.6m/s、国内でも有数の強風地帯で、風力発電に適した環境といえる。また青山高原は学校や行政、環境団体などが風力発電

施設見学に訪れるほか、四季折々の自然や展望台からのパノラマ風景、麓にある名湯「榑原温泉」を楽しむと年間約11万人もの観光客が訪れる人気のスポットでもある。

風力発電の特徴

1. 風は無尽蔵の自然エネルギー
2. 二酸化炭素を排出しないなど環境にやさしいクリーンエネルギー
3. 地域分散型、需要地と近接のため、輸送によるエネルギー損失が低い

風車について

ブレードと呼ばれる羽根が3枚ついたシンプルなデザインの風車は、タワー(柱)の高さ50m、ブレードの回転部の直径50.5m、地上から最頂部までの高さ75mと巨大。風速3m/sの風で起動し、25m/sになると停止。理想的な風速は12.5m/s~25m/s、瞬間の風に応じて360度自動的に首を振る。その風のエネルギーを羽根の回転力に変え、発電機を回して電気を発生させている。

未来に向かって

同社は、平成27年度目標に風車46基程度を増設する構想を持って、調査している。構想が実現した場合、既設20基を合わせ合計の発電出力は約107,000KWとなり、国内最大の風力発電所となる。地球温暖化防止は今や地球規模で取り組まなければならない緊急の命題である。今後も「地球温暖化防止、地域社会の貢献、環境教育の啓蒙」と様々な観点から取り組みを続けていこうと考えている。

